

# 石川県警察本部交通機動隊環境行動計画

平成21年12月7日

## 取り組み方針

石川県警察では、安全・安心な石川の実現を目指すため、犯罪抑止総合対策の推進、少年の健全育成に向けた総合対策の推進、重要犯罪・組織犯罪の徹底検挙、死亡事故等重大交通事故の抑止、テロ対策の強化と有事即応態勢の確立、及び、警察力の充実強化を重点目標に各種治安対策に取り組んでいますが、その一方、環境への配慮を推進するため、交通信号機のLED式への切り替え、エコドライブの普及啓発等により環境改善に積極的に努めています。

こうした中、当交通機動隊においては、環境保全が県の重要課題の一つと捉え、職員一人ひとりが環境問題の当事者としての自覚を持ち、公的機関として、民間企業や県民に対して率先して行動する使命を負っているものと認識しています。

このため、私たちは、当隊の活動が環境負荷へ及ぼす影響を最小限に抑制するため、以下の行動に取り組めます。

- ① 警察活動の中で省エネルギー化・省資源化を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- ② 事務用品の購入に当たっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- ③ 資源（用紙）のリサイクルを進め、有効利用を図ります。
- ④ 街頭交通指導に当たっては、エコドライブの普及啓発に努めます。
- ⑤ 環境事案の取締りを徹底するとともに、環境保全意識の啓蒙に努めます。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取り組み方針と取り組み目標、及び、具体的な取り組み内容を全職員に周知します。

平成21年12月7日

石川県警察本部交通部交通機動隊

隊長 中西 修一

### 3. 環境負荷の低減目標

当隊での環境負荷の低減目標及び具体的な取り組み項目は次のとおりです。

<p>目標-1 〈エネルギーの消費〉</p>	<p>①二酸化炭素の排出量を、平成21年度を基準に平成23年度までに約2%削減する。 (以降、毎年度約1%削減する。) ②電力の使用に伴う二酸化炭素の排出量を、平成21年度を基準に平成23年度までに約2%削減する。 (以降、毎年度約1%削減する。)</p>
<p>具体的な取り組み</p>	<p>[事務所での取り組み] ① 冷房温度(28度)と暖房温度(19度)の調節を徹底する。 ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを心掛ける。 ③ 人のいないエリアの消灯を徹底する。 ④ パソコン・コピー機の節電機能を活用する。 ⑤ 電気温水器の循環水の温度を適切に設定する。</p> <p>[公用車に関する取組] ① 緊急時を除き、不必要なアイドリングを禁止するとともに、エコドライブを推進する。 ② 会議・打ち合わせなどの計画を事前に集約し、効率的な公用車の使用に努め、乗り合わせを徹底する。 ③ 車両点検を徹底する。</p>
<p>目標-2 〈廃棄物の排出〉</p>	<p>①一般廃棄物の排出量を平成21年度を基準に5%以上削減し、その後、毎年度漸減に努める。 ②資源ゴミの分別を徹底し、リサイクルを推進する。</p>
<p>具体的な取り組み</p>	<p>① 廃棄物排出量を計測・記録する。 ② シュレッダーの使用は極力控え、用紙の再利用に努める。 ③ 重要な書類は直接製紙工場に持ち込み、自身で溶解する。 ④ 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう。 ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する。 ⑥ 封筒、ファイル、フォルダーは繰り返し使用する。</p>
<p>目標-3 〈水・紙の使用〉</p>	<p>①コピー用紙の使用量を把握し、削減に努める。 ②水の使用量を平成23年度までに現在より10%以上削減し、以降の使用量はこれを超えないようにする。</p>
<p>具体的な取り組み</p>	<p>① 作成した資料やメール等で收受した資料は、可能な限りパソコン画面上での確認を徹底する。 ② 書類・資料の電子データ化を進め、メールでのやり取りを徹底する。 ③ 両面印刷、両面コピーを徹底する。 ④ 使用済み用紙の裏面を利用する。 ⑤ 会議資料は、必要最低限の部数に抑制する。 ⑥ 不要な洗車は慎み、洗車の方法も見直し、節水に心掛ける。</p>

#### 4 環境行動計画の実施体制

環境負荷の低減目標を達成するため、副隊長を環境管理責任者とし、その下に環境推進員(分駐隊長・隊長補佐)を置き、具体的な取り組みの実施状況を以下のとおりチェックします。

- ・本隊、分駐隊毎に「日常業務活動チェック表」を設置し、節電・節水状況などについて推進員等が毎日確認・記入を行い、月単位で環境管理責任者(副隊長)のチェックを受けます。

- ・毎月、電力・水道・燃料などの使用量等を集計し、増減状況及びその理由等を分析し、翌月以降の行動計画にどう反映させるか組織的に検討します。

なお、取り組み結果が優秀な場合は、表彰等によりインセンティブを働かせていきます。